



たいじゅ

大樹



平成23年度 鹿嶋市立平井中学校 第3学年通信 No.23 平成23年10月7日発行

♪ 進路情報。

今回から、高等学校に入学するための試験、「入試」について説明いたします。入試は大きく分けて「推薦入試」「一般入試」「二次募集入試」の3通りです。高校の区分（公立／私立，全日制／定時制／通信制）などによって、3通りのうちどれが用意されているか、また、その細かい実施内容等も異なりますので、注意が必要です。また、高校ではない専門学校等でも、3種類の入試を設定している所があります（専門学校等については、後ほどこのコーナーで詳しく取り上げます）。

まずは、「推薦入試」についてです。

みなさんが受験する今回の入試において推薦入試が実施される高校は、この地域では茨城県立高校と、私立高校の清真学園高校・鹿島学園高校の2校です。同じ公立高校でも、千葉県の公立高校では、推薦入試は廃止されています。また、この地域の私立高校でも、香取市の千葉萌陽高校は、推薦という言葉は使っていません。茨城県立高校も、推薦入試が行われるのは、みなさんが受験する来年2月の入試までで、現在の中学2年生が受験する入試からは、推薦入試は廃止になります。

推薦入試では、中学校の校長先生の名前で、「この生徒はそちらの高校で間違いなくきちんとやっつけていける生徒ですので、よろしくお願いします。」といった内容の「推薦書」という書類を添えて出願（願書の提出）をします。つまり、中学校の校長先生が「間違いなくきちんとやっつけていける生徒」というお墨付きを与えることにより、通常的一般入試におけるペーパーテストが免除される、という仕組みです（ただし、私立高校では推薦入試でありながら、ペーパーテストも実施する所がほとんどです。その代わり、一般入試より合格の基準、いわばハードルは低めに設定される傾向があります）。言い換えれば「間違いなくきちんとやっつけていける」と言えない生徒は対象外となるわけです。普段の学校生活で、やるべき事を明らかにきちんとやっつけていなかったり、平井中の決まりを無視していたり、という生徒には、残念ながら推薦入試での受験は遠慮してもらいます。

また、各高校ごとに「中学校での学習成績が××以上の者」とか「部活動で県大会に出場した生徒」といった条件（各高校によって異なります）を提示してきます。そうした条件をクリアできていない場合には、そもそも受験する資格がない、ということになります。



したがって、推薦入試はだれでも自由に受験できるわけではないということです。

次回は、推薦入試が実際にどのような形で行われるのか、といった点についてお知らせいたします。